

やお市議会だより

3月定例会号 令和7年(2025年)4月20日号 vol.329

つなげる支援室



▶ 令和7年度当初予算を可決
市議会が注目した事業は

▶ 議会提出の「八尾市手話言語条例」を制定

「つなげる支援室」の職員
裏表紙にインタビュー記事を掲載しています！

令和7年度事業 市議会はココに注目！

スクールキッズ・スクエアの試行実施

関連予算 2,586万9千円

希望する児童が自分の意志で自由に遊び、学ぶことができる放課後等の安全な居場所をつくるため、学校施設の一部を開放し、指導員が見守りや声掛けを行う「スクールキッズ・スクエア」の取り組みを試行実施する。



持続可能な地域まちづくりの支援

関連予算 5,573万1千円

各校区まちづくり協議会が持続可能で元気な地域づくりを進められるよう、新・校区まちづくり交付金制度の運用を開始し、若い世代等の多様な人の参画と地域力向上につながる主体的な取り組みの促進を図る。



がん患者の就労や社会参加の支援

関連予算 390万円

がんとの共生社会実現に向け、がん患者の就労や社会参加を支援し、療養生活の質の向上を図るため、がん治療に伴うアピアランスケアとして、ウィッグや乳房補整具の購入にかかる費用の一部を助成する。



空家等の利活用・適正管理の促進

関連予算 2,206万9千円

空家等の解消による安全・安心なまちづくりや移住・定住の促進及び地域コミュニティの活性化につなげるため、管理不良状態の空家等や旧耐震基準の住宅等の除却費用や中古住宅の取得に関する補助制度を拡充する。



議会活動の記録

本会議
(1月22日、23日、2月21日、26日、27日、3月3日、27日)
議会運営委員会
(1月21日、23日、2月10日、13日、27日、3月26日)
総務常任委員会、予算決算常任委員会(総務分科会)
(1月22日、3月17日、18日)
建設産業常任委員会、予算決算常任委員会(建設産業分科会)
(3月13日、14日)
文教常任委員会、予算決算常任委員会(文教分科会)
(3月7日、10日)
健康福祉環境常任委員会、予算決算常任委員会(健康福祉環境分科会)
(1月10日、22日、3月11日、12日)

予算決算常任委員会(全体会)
(1月23日、3月3日、24日)
予算決算常任委員会(理事会)
(1月21日、23日、2月13日、27日、3月21日)
各派代表者会議
(1月24日、2月10日、3月24日、26日)
議会だより編集委員会
(2月21日、3月27日)
意見書調整会議、幹事長会議
(3月25日)

3

令和7年
3月定例会

令和7年3月市議会定例会を、2月21日から3月27日まで開会しました。
1日目に市長から市政運営方針の説明があり、2～3日目に代表質問、4日目に個人質問を行い、市政全般について質問しました。また、令和7年度当初予算案などの議案を上程し、所管の委員会で審査しました。
最終本会議では、議案に対する討論の後、人事議案等を追加上程し、すべての提出議案を可決・同意しました。

CONTENTS
- もくじ -

- P4 代表質問
- 大阪維新の会/公明党/八尾保守の会/八尾の未来を紡ぐ会/
新声/日本共産党
- P8 個人質問
- 木村健二議員/坂本尚之議員/西田尚美議員/南方武議員/
柴谷匡哉議員/田中裕子議員
- P10 委員会審査の概要
- P12 所管事務調査の報告
- P14 議決結果 請願審査結果 6月定例会の予定

ホームページへのアクセス

発言通告



議会映像



議決結果



Topic!

議会提出の「八尾市手話言語条例」を制定

3月市議会定例会の最終本会議に、同条例案を上程し、全会一致で可決しました。

QRコードから、同条例の全文を見ることができます。



制定までの経過

平成23年に障害者基本法が改正され、手話が言語として広く認められたものの、いまだ手話に対する理解の広がりを感じるに至っていないことから、市議会では、八尾市手話言語条例の制定に向け、協議を重ねるとともに、障がい者団体や学識経験者との意見交換を行いました。
条例素案に対するパブリックコメントを実施し、43名の方から計150件のご意見をお寄せいただきました。頂いた様々なご意見を踏まえ、議会として条例案を提出しました。

条例の内容

「手話は言語である」との認識のもと、手話及びろう者に対する理解の促進と手話の普及についての基本理念を定めています。
また、市の責務や市民・事業者の役割を明らかにするとともに、手話に関する施策推進の基本事項を定めることで、ろう者とろう者以外の者が共生することができる地域社会の実現をめざすものです。

手話であいさつ

ありがとう



令和7年度
市政運営に対し

会派の代表6人が 市政を問いただす

代 表 質 問

代表質問とは？

議員が、所属する会派を代表して行う質問のことをいいます。八尾市議会では、答弁を含まず50分の持ち時間となっています。

代表質問

アピランスケアとは

がんやがんの治療による外見の変化に起因する苦痛を和らげるケアのこと。医学的・整容的・心理社会的支援を用いて、患者が自分らしく生活を送ることができるよう支えることを目的としている。

その他の主な質問項目

- 带状疱疹ワクチン定期接種化の詳細
- 期日前投票所を商業施設（イズミヤ）に増設すること
- スクールキッズ・スクエアの指導員等の運営体制
- 体育館及び特別教室のエアコン整備



公明党
まえその
前園 正昭
まさあき



物価高騰に対して
迅速な対応を！



Q 食料品を中心に物価高騰が市民生活に大きな影響を与えている中、市民ニーズや実施効果の高い物価高騰対策を迅速に講じるべきだがどうか。

A 物価高騰の影響を大きく受ける低所得世帯等への支援に加え、子育て世帯への経済的な影響を考慮した効果的な支援策についても国や府の動向を見ながら検討する。
Q サポートが必要な子どもを含め、すべての児童・生徒が学校行事として大阪・関西万博に参加できる体制は整っているのか。
A すべての児童・生徒がバスで万博会場に行く準備をしており、バ

スに乗れない子どもには介護タクシー等を手配し、介助等のサポートが必要な子どもには介助員等が同行できるよう配慮していく。
Q がん治療に伴うアピランスケアについて、ウィッグや乳房補整具の購入助成費が予算に計上されたとが、対象となる件数や金額及び周知方法はどうか。

A ウィッグ等が100件、乳房補整具が30件、それぞれ上限3万円の助成を想定している。周知については、市政だよりやホームページをはじめ、がん相談支援センターや、がん診療を行う医療機関と連携し取り組んでいく。



様々な人が集い、地域活性化につながる都市空間の整備が望まれる。



八尾保守の会
つゆほら
露原 行隆
ゆきたか



魅力ある近鉄八尾へ
人中心の都市空間を



Q 近鉄八尾駅前広場にある噴水が撤去されるが、今後の駅前広場の再整備をどのように考えているのか。

A 人中心の都市空間を創造するまちづくりの考え方のもと、老朽化により、現在停止している噴水を撤去し、地域のイベント等の開催ができる広場を整備することで、様々な人の交流促進や地域の活性化につながるかと考える。

Q 生きる力の土台となる非認知能力の育成にアプローチした、家庭教育支援の具体的な取り組みとは。

A 人格形成の基本には非認知能力があると考える教育活動を展開している。子どもたちが自分に自信を持ち、すばらしい人生を生きていく力の育成に向け、家庭においても非認知能力を育む大切さを伝えるため、入学式において新小1年生の全保護者向けのビデオメッセージを上映するほか、専門家による講演会等も開催する予定である。

その他の主な質問項目

- 2025年大阪・関西万博に出展する意義と期待される波及効果
- 体育館のZEB化や断熱改修を検討すべき
- 公共下水道長寿命化計画の進捗状況及び災害時の液状化リスク
- 小・中・高生が安心して過ごせる居場所の確保の必要性

大阪維新の会
まつもと
松本 剛
つよし



改革と成長の好循環
さらなる推進を



Q 令和7年度の市政運営方針において、2025年大阪・関西万博、子ども・子育て、安全・安心・環境、健康・福祉、魅力・活力の5つの重点取り組みを掲げ、まちづくりや、改革と成長の好循環が推進されていくものと考えているが、市長の決意は。

A これまでも市民最優先の視点で諸課題に的確に取り組みとともに、行財政改革で生み出した財源により市民サービスの充実を図り、本市の成長と発展の実現に向けた取り組みを着実に進めてきた。令和7年度においても、すべての市民に光が当たり、選ばれるまちの実



選ばれ、住み続けたいまちの実現のため、行政運営のさらなる推進が求められる。

現に向け全力で取り組んでいく。
Q 大阪・関西万博を契機に市民と一体となった施策を展開し、終了後においても、まちの活性化につながる持続的な取り組みとしていく必要があると考えるがどうか。
A 万博において、本市の魅力ある地域資源を国内外に発信することで、市のイメージのブランド化が進み、市民が誇りと愛着を持って八尾に住み続けることにつながる。また、多くの人々が本市を来訪し、市民と交流することで、まちがにぎわい、地域が活性化していくといった波及効果を生み出し、本市の成長と発展につなげたい。

その他の主な質問項目

- 小・中学校給食費無償化への市長の思い
- スクールキッズ・スクエアの事業内容等の詳細
- 大規模地震発生を踏まえた防災計画の見直しと防災・減災対策
- 高齢者の健康維持増進と就労年齢層の健康づくり

代表質問

八尾の未来を紡ぐ会
西川あり



万博会場における安全対策は万全か



Q 万博への社会見学において、安全対策は万全か。

A 安全かつ計画的な見学ができるよう、会場の下見において、休憩場所や熱中症対策等の確認を行う。安全面に問題があれば、学校行事として実施しないという判断をする場合もある。

Q 男女共同参画社会基本法第一条の目的には「男女の権利が尊重され」とある。いまだに平等でない女性の権利をしっかりと周知、啓発研修していかなければ、法律の目的は達成されないと考えるがどうか。

A 「すみれ」のセミナーの中で、

正常性バイアスとは

異常なことが起こった時に、心の安定を保とうとする働きのこと。自然災害など自分にとって何らかの被害が予想される状況下であっても、「前例がない」「自分は大丈夫」「大したことではない」などと過小評価するなどして、逃げ遅れの原因となるなど、マイナスに働くこともある。

その他の主な質問項目

- 下水道管の老朽化状況の把握
- 職員数削減における市民サービスへの影響
- いじめの被害児童・生徒に対する新たな救済制度の必要性
- パーソナルサポート事業の効果的な見直し
- 学校司書モデル配置の効果検証

日本共産党
越智 妙子



安全確認に根拠なし 万博遠足は中止を！

Q 万博への遠足について、府内の複数市が参加を見合わせている。吹田市は熱中症対策や待機場所の確保などが不十分として、保護者宛てに不参加の通知を出したが、本市はどのような安全確認を行い、予算を計上しているのか。

A 大阪府や大阪市、博覧会協会が安全・防災の計画を立てており、安全対策されているものと考えられる。また、今後、各校での下見において休憩場所や熱中症対策等を確認した上で実施の判断を行っていく。

Q 市内にある複数の放課後児童室のトイレについて調査し、ある施設では児童181人に対して小便器が5つ、洋式便器が3つで、順番待ちが多々発生しているとの報告を受けた。また、障がい児がトイレを利用する際には、廊下から見える位置に置いた机にシートを敷き、その上で下着を脱着している状況や、排水の悪臭が教室まで漂うような施設もあり、子どもたちのために、一刻も早くトイレ設備を改善すべきと考えるがどうか。

A 改修には予算化も必要だが、直ちに実施することは難しいが、校舎トイレの利用など、現場の指導員の意見を踏まえながら、可能なところから、運用面での工夫をしていきたい。



トイレ内に設置した簡易的な着替え台を利用する児童もあり、トイレ設備の改善が望まれる。

その他の主な質問項目

- 国保料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の引下げ、廃止された減免制度の復活
- 国に対して高額療養費の負担上限額引上げ撤回の声を上げるべき
- 小・中学校給食費無償化の恒久化
- 認定こども園での保育虐待の全容と原因を検証し公表すべき



新声
やまなか
山中 宏



今後の行政運営を 持続可能なものに！



Q 財政調整基金を35億円取り崩して、令和7年度当初予算を組んでいるが、中期財政見通しの計画値を達成できるのか。また、物価高騰を踏まえ、基金残高目標額を改める必要はないか。

A 基金の取り崩し額は例年と同規模であり、目標の達成に影響はないと考える。基金残高目標額については、他市の状況等も踏まえ、必要に応じて検討する。

Q 行政DXを推進するにあたり、職員のデジタルスキル向上や人材育成をどのように進めているのか。

A 職員のスモールステップでの役割に応じた人材育成・研修を進めるとともに、高度な専門知識を有する人材を外部から招聘するなどの取り組みを進めている。



市民ニーズの変化等を見定めながら、行政サービスの向上と行財政改革を進めていく必要がある。

その他の主な質問項目

- 高齢者が活躍できる多様な雇用・就業機会の創出
- 上下水道管や橋梁等、社会インフラを維持するための考え
- 八尾空港西側跡地活用におけるマーケットサウンディング調査後の進捗状況
- 介護給付レセプトチェック

1月臨時会 を行いました

物価高騰長期化による負担軽減のための補正予算審議

総額 16億9,723万5千円 (一般会計第8号補正予算)

- 物価高騰対応重点支援給付金 (住民税非課税世帯及び子ども加算) に係る経費
- 物価高騰対応重点支援給付金 (住民税均等割のみ課税世帯及び子ども加算) に係る経費



市独自



QRコードから、本会議の映像を見ることができます。

令和7年1月市議会臨時会では、1月22日に物価高騰長期化による負担軽減のための補正予算案を上程し、早期の給付を実現するため、所管の委員会で審査した後、1月23日の本会議で採決を行い補正予算案を可決しました。

R7
3
月定例会

個人質問

個人質問とは？

議員が、市政全般について、市民の代表として行う質問のことをいいます。八尾市議会では、答弁を含まずひとり30分の持ち時間となっています。

個人質問

Q 女性が出産後に社会復帰・参画し、健康に活躍・活動するため、公共施設や職場等で安心して搾乳できる環境整備が重要である。まずは市役所本庁舎に設置している授乳室にも「搾乳できますマーク」を貼付すべきと考えるがどうか。
A 出産後の女性が安心して市庁舎を利用できるよう、授乳室に搾乳の表示をしていきたい。
Q 家庭の廃食油を回収し持続可能な航空燃料(SAF)に再生利用することを通じ、環境意識の向上と地域活性化を図る活動を推進すべきと考えるがどうか。
A 循環型社会・脱炭素社会の実現に有益なものとして認識しており、民間業者との連携など、効果的な取り組みについて他市事例等を参考に検討していく。なお、廃食油の回収については、アリオ八尾を含めた市内3か所で実施されている。

その他の主な質問項目

- ジェンダーギャップ対策室設置の必要性

公明党
西田 尚美
安心して搾乳できる環境づくりを



公明党
南方 武
環境啓発と活性化に大和川を活用せよ



八尾の未来を紡ぐ会
柴谷 匡哉
里道の実態を踏まえ地域主体での管理を



日本共産党
田中 裕子
障がい児の通学支援八尾市でも導入を



わんどとは
川の本流につながっているが、河川構造物などに囲まれて池のようになっている地形のこと。魚類などの水生生物の安定したすみかや、様々な植生が繁殖する場となっている。

Q ヘリポートや水防センターがある大正コミセンや八尾空港西側跡地の開発が期待される区域に隣接している大和川周辺地域は、市民の憩いの場となるような河川空間として非常に可能性のある場所であるとされる。「大和川わんど」をはじめ、河川空間を魅力的できれいな場所に整備し活用できれば、市民の喜びや市の魅力創造につながると考えるがどうか。
A 大和川を活用した地域活性化につながる取り組みをしていきたいと考えており、国などに本市の思いを伝え、協力を求めながら検討を進めていく。

Q 里道の利用が地域住民に限定される等の実態も踏まえ、地域主体での管理についても検討していくべきではないか。
A 里道の維持管理は市が行っているが、地域主体での管理については、先行事例を参考に検討していく。
Q 障がい児に対する虐待については、初期対応が重要であり、市民等が躊躇なく通報や情報提供、相談できるよう、通報者に寄り添った対応を徹底すべきではないか。
A 通報者の声を真摯に受け止め、改めてマニュアルに沿った対応を徹底し、より通報者に寄り添った窓口対応に努めていく。
Q サ高住は課題が多いとされ、本市における設置数は全国一である。また、未届けの有料老人ホームも全国で14番目に多く、介護事業者の経営難の状況も含め本市の実態を把握し、高度な介護サービスの基盤整備を推進すべきではないか。
A 実態把握に努め、しっかりと市の責任を果たしていく。

大阪維新の会
木村 健二
外郭団体・産業政策徹底見直しを要望



大阪維新の会
坂本 尚之
市の経常収支比率めざす値と道筋は



Q 国際交流センターの運営にあたり、市は補助金を拠出し続けているが、市民ニーズを把握し、事業内容とともに補助金の額やあり方についても検討する必要があると考えるがどうか。
A 税金を投入する限りは、費用に見合う効果が得られているかどうか、今後の事業内容も含めてしっかりと精査する必要がある、引き続き取り組んでいく。
Q 産業政策の効果検証は難しいが、適切な評価を行わないまま事業継続することがないよう、事業開始から一定期間経過後に、事業廃止も視野に入れた見直しを行うべきと考えるが、市の見解は。
A 一定期間経過後に様々な経済指標をデータとして出して検証し、事業を継続するべきか、新たな施策を行うべきかを、PDCAサイクルの中でしっかりと検討していく必要があると考える。

Q 令和5年度決算において経常収支比率が100%を超えたが、本市が目指す経常収支比率は。また、扶助費と人件費が高いが、今後どのように対応していくのか。
A 経常収支比率は中核市の平均である92%をめざす。引き続き、必要なサービスを提供できるように事業費を精査するとともに、行財政改革に取り組み、持続可能な行政運営に努める。
Q 指定ごみ袋のみではなく推奨ごみ袋も可とするなど、ごみ袋の自由化を検討すべきと考えるが、八尾市廃棄物減量等推進審議会から指定袋制度のあり方についてどのような意見があったか。
A 指定袋制度については、ごみの減量で一定の評価をいただいているが、時代の変化とともに様々な課題がある中で、市の財政状況を含めた上で見直ししていく必要があるとの意見があった。

Q 枚方市では障がい児の通学支援事業を実施しており、年間67人の利用者がいるが、本市では同様の事業がなく、5年間で7人に個別ケースとして対応をしているのみである。本市でも事業実施すべきだがどうか。
A 他市の動向等も参考にしながら慎重に検討を進める。
Q 10館のコミセンの内4館は、2030年度までに大規模改修を行うとしているが、エレベーターの設置は含まれているのか。また、他の市有施設の機能更新により後回しになることはないか。また、机、椅子の更新計画はあるか。
A エレベーターの設置はバリアフリー化の一つとして必要と認識しており、後回しにするということではなく優先順位等を考慮しながら進めるべきと考えている。机や椅子などの物品更新計画は策定しておらず、破損により入れ替えている。

委員会審査

総務 常任委員会・分科会

職員のコンプライアンス推進 周知徹底をどう図る？

Q 職員倫理条例の改正内容及び職員への周知方法は。

A 職員のコンプライアンスの推進に関する条例に名称を改めるほか、第三者機関であるコンプライアンス審査委員会や内部公益通報の対応などを判断することや、ハラスメントの禁止及び対応方法などについて規定した。会計年度任用職員を含めたすべての職員に対し、ホームページへの掲載をはじめ、庁内通知や動画での研修など、あらゆる機会を通じた周知の徹底を進めていく。



職員のコンプライアンスについて見直しを行い、不正・不当な行為を抑制し、より良好な職場環境の構築を図る。

Q 令和7年度に実施予定の参議院議員選挙における期日前投票所に商業施設イブミヤが追加されるが、必要な市費は。また、衆議院議員選挙など、急を要する選挙でもイブミヤに期日前投票所を設置することができるとか。

A 記載台や投票用紙の自動交付機など、国政選挙以外でも使用可能な物品等については市費で対応する。また、急な選挙があった場合でも、期日前投票所を設置できるように合意を得ている。

委員会で審査した議案

- 八尾市職員倫理条例等の一部改正の件
 - 八尾市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正の件
- その他議案7件

分科会で審査した議案

- 令和6年度八尾市一般会計第9号補正予算の件 (所管分)
 - 令和7年度八尾市一般会計予算の件 (所管分)
- その他議案4件

建設産業 常任委員会・分科会

空家等利活用促進補助制度 見直しの内容や事業効果は？

Q 空家等利活用促進補助制度をどのように見直すのか。また、周知や事業効果はどうか。

A 市外だけではなく市内在住の若者子育て世帯に補助対象を広げ、市内中古住宅の購入にあたり、基本額30万円、市外からの転入やその他の要件により最大100万円補助できるように見直す。移住定住ポータルサイトや協力連携団体のホームページ等で情報発信しながら、空き家対策だけでなく、移住・定住の促進や地域活性化につながる取り組みとして事業を進めていく。

ストックマネジメント計画とは

下水道施設全体を対象に、優先順位を設定し、中長期的な維持管理と修繕・改築を計画的かつ効率的に管理する計画のこと。下水道施設の安全・安心の確保などを目標とし、持続可能な下水道施設管理の最適化を目的としている。

Q 埼玉県八潮市の道路陥没事故を受け、下水道管の緊急点検を行った結果はどうか。また、今後どのように下水道施設の維持管理を行っていくのか。

A 点検の結果、緊急で対応が必要な危険箇所は見受けられなかった。今後も、国の動向や最新技術を注視し、ストックマネジメント計画に基づく日々の点検調査を着実に実施し、効率的かつ効果的な維持管理を進め、安全・安心の確保に努める。

委員会で審査した議案

- 八尾市手数料条例の一部改正の件
 - 市営西郡住宅14～18号館建替事業に係る事業契約変更の件
- その他議案5件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市公共下水道事業会計予算の件
 - 令和7年度八尾市一般会計予算の件 (所管分)
- その他議案3件

文教 常任委員会・分科会

スクールキッズ・スクエア事業 試行実施する意義は？

Q 中規模の小学校2校で試行実施予定の、放課後の見守り事業であるスクールキッズ・スクエアを行う意義は。

A 保護者の就労等の要件がないため、保護者の就労時間が短く児童保育が利用できない場合や夏休みだけの利用等のニーズに応えられる。また、新たに児童保育以外で放課後に安全に過ごせる居場所ができることで、持続可能な放課後児童の居場所づくり対策となると考える。



放課後に安全に過ごせる居場所が増えることで、保護者の安心と児童の健やかな育ちにつながることを期待される。

Q 公立園及び民間園で試行実施予定のこども誰でも通園制度と、一時預かり保育との違いは何か。

A 保護者の就労等に際しての預かりではなく、子どもの成長の観点から、すべての子どもの育ちを応援し、成育環境を整備することを目的としている。

Q 医療的ケア児の利用も可能か。

A 子どもを安全に受け入れることが重要なため、国の制度設計を確認しながら、施設ごとに可能な対応を個別・柔軟に検討する。

委員会で審査した議案・請願

- 八尾市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正の件
 - 中学校における「41人以上」の学級の解消を求める請願の件
- その他議案3件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計予算の件 (所管分)
- その他議案4件

健康福祉環境 常任委員会・分科会

市立病院の患者無料送迎サービス その内容と今後の展開は？

Q 市立病院の交通便利性の向上として、令和7年度から実施する、患者無料送迎サービスの詳細は。

A 地域の医療機関へのアンケート結果に基づき、山本地区と大正・平野地域を対象とし、山本駅と市立病院を結ぶルート、八尾南駅と戸駅周辺を回り、市立病院と結ぶルートの2コースで実施予定である。また、送迎時間については、受付時間に合わせた運行を予定しているが、最終運行時間や便数については、検討中である。



患者無料送迎サービスの実施により、市立病院への通院を希望する方が利用しやすい環境となる。

Q 利用者が市立病院の患者かどうかの確認方法は。

A 診察券や紹介状の確認、また、当日の診療の有無を確認するなど、実施に向けて検討していく。

Q 今後、コースを拡充していく予定はあるのか。

A 3年間の試行実施の中で、さらなる要望や費用対効果等、総合的に判断していく。

委員会で審査した議案

- 八尾市国民健康保険条例の一部改正の件
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件

分科会で審査した議案

- 令和7年度八尾市一般会計予算の件 (所管分)
- その他議案11件

▶ QRコードから、全ての委員会の映像を見ることができます。



CHECK! 議会の提案が市政を動かす
常任委員会の所管事務調査

令和6年度の各常任委員会の調査研究が完了
 課題解決のための施策提言をまとめ、市に提出しました!

所管事務調査は、条例案や予算案の審査とは異なり、常任委員会が自主的にテーマを決めて市政について調査を行うことです。議会が自ら調査を行うことで、市議会の政策力を発揮することができます。

令和6年度も、市が行っている取り組み内容の確認や、他市の先進事例を視察・研究するなど、様々な調査を行い、各常任委員会で最終報告書をまとめ、市に提出しました。

ホームページには所管事務調査報告書の全文を掲載しています。→→→



文教常任委員会

- 調査テーマ
- ・産後ケアについて
 - ・不登校対策について

▷産後ケア事業の提供体制の整備

産後ケア事業については、利用者が年々増加している中で、サービスの提供体制をこれまで以上に整備する必要がある。利用者アンケートの結果や面談・訪問時のニーズ把握を詳細に分析した上で、利用施設の拡大や効果的・効率的な事業実施のあり方について、研究検討されたい。



不登校になるきっかけは一人一人異なることから、多様な教育機会の確保が必要であり、幅広い支援を行うためにも様々なノウハウを有する民間団体との連携を図る必要がある。

▷民間施設等と連携した不登校対策

今後フリースクール等、民間施設や地域とも緊密に連携を図り、個々の状況に応じた幅広い不登校対策を進められたい。

【調査報告書の一部を抜粋】

総務常任委員会

- 調査テーマ
- ・少子高齢・人口減少社会を見据えたコミュニティづくりについて

▷地域の自主的な団体との連携強化

各町会が地域ボランティア団体やNPO、社会福祉法人等と連携し、地域活動の担い手を増やす仕組みを整備する必要がある。まず、地域で活動する団体の見える化を図り、市民が理解しやすいように活動分野ごとの一覧表を作成し、町会や市民が連携しやすい環境整備に努めることを求める。



町会活動の担い手不足や加入率低下などの課題解決には町会自らが運営の見直しに取り組むだけでなく、自治体においても各種見直しが必要である。

その上で、町会ごとの特色や強みを生かした事業展開を行政が支援し、町会とボランティア団体をつなぐハブ機能を持った総合ボランティアセンターの設置についても検討するよう求める。

【調査報告書の一部を抜粋】

健康福祉環境常任委員会

- 調査テーマ
- ・ごみ減量・環境負荷軽減の取り組みについて
 - ・健康寿命の延伸について（健康課題解決に向けた取り組みについて）
 - ・ろう者及び手話に対する理解について

▷ごみ減量・環境負荷軽減の取り組み

他市事例等の研究を通じて、ごみ減量と資源化の取り組みを一層強化し、また、適正かつ安定した廃棄物処理の持続可能性を向上させ、循環型社会の形成ならびに持続可能な社会の実現を進められたい。



適正かつ安定した廃棄物の処理を継続させていくために、より一層ごみの排出抑制と再生利用を促進していくことが必要である。

▷健康課題解決に向けた多様な団体との連携

民間企業や団体等との協力を基盤に、本市の強みである産業分野との連携を図り、市民の健康づくりが都市発展の柱に据えることができる段階まで昇華すべく、部局をまたいだ市民目線での取り組みを推進されたい。

【調査報告書の一部を抜粋】

建設産業常任委員会

- 調査テーマ
- ・地域公共交通の課題解消に向けた取り組みについて

▷地域主体型交通

高齢者だけでなく、妊婦や学生など幅広い世代の暮らしを支え、安心して移動できる地域公共交通のあり方が重要となる。交通不便地に暮らしている高齢者等の既存公共交通へつなげる移動手段を確保するため、地域の実情に合わせた適切な交通手段の導入が求められる。



市民、交通事業者及び行政が一体となって、地域公共交通利用者の利便性向上と、持続可能な公共交通ネットワークの再構築を進める必要性が高まっている。

地域住民が中心となって、地域に必要な公共交通を自分たちで考え、行政や交通事業者が協力しながら、計画から運行、運営及び利用促進まで主体的に行う事業実施のあり方について研究、検討されたい。

【調査報告書の一部を抜粋】

全会一致の議案等

件名 [] は討論件数	議決結果	件名 [] は討論件数	議決結果
市道路線の認定及び廃止に関する件 ※3	可決	令和6年度八尾市病院事業会計第1号補正予算の件 ※3	可決
八尾市職員の勤務時間等に関する条例の一部改正の件 ※3	可決	令和6年度八尾市公共下水道事業会計第1号補正予算の件 ※3	可決
八尾市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部改正の件 ※3	可決	令和7年度八尾市財産区特別会計予算の件 ※3	可決
八尾市手数料条例の一部改正の件 ※3	可決	令和7年度八尾市土地取得事業特別会計予算の件 ※3	可決
八尾市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正の件 ※3	可決	令和7年度八尾市母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算の件 ※3	可決
八尾市児童遊園及びちびつこ広場の設置に関する条例の一部改正の件 ※3	可決	令和7年度八尾市病院事業会計予算の件 [賛成1]	可決
八尾市国民健康保険条例の一部改正の件 ※3	可決	令和7年度八尾市一般会計第1号補正予算の件 [賛成1][※2]	可決
八尾市都市公園条例の一部改正の件 ※3	可決	令和7年度八尾市一般会計第2号補正予算の件 [※2]	可決
八尾市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部改正の件 ※3	可決	包括外部監査契約締結の件 ※3	可決
八尾市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正の件 ※3	可決	八尾市職員倫理条例等の一部改正の件 [賛成1]	可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 (議案第13号) ※3	可決	八尾市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び八尾市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正の件 ※3	可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 (議案第14号) ※3	可決	八尾市非常勤消防団員等公務災害補償条例の一部改正の件 ※3	可決
刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定の件 (議案第15号) ※3	可決	市営西郡住宅14～18号館建替事業に係る事業契約変更の件 ※3	可決
単純な労務に雇用される一般職に属する職員の給与の種類及び基準を定める条例制定の件 ※3	可決	八尾市副市長を選任するについて同意を求める件 (大中英二氏)	同意
八尾市職員旅費条例制定の件 ※3	可決	八尾市教育長を任命するについて同意を求める件 (浦上弘明氏)	同意
令和6年度八尾市国民健康保険事業特別会計第3号補正予算の件 ※3	可決	八尾市議会委員会条例の一部改正の件	可決
令和6年度八尾市介護保険事業特別会計第3号補正予算の件 ※3	可決	八尾市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正の件	可決
令和6年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計第2号補正予算の件 ※3	可決	八尾市手話言語条例制定の件	可決

◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。

[※2] 賛否が分かれた議案等「令和7年度八尾市一般会計予算の件」と3件一括で賛成1 ※3 採決の際、田中裕子議員は不在。

QRコードから、本会議の映像を見ることができます。



請願

国または地方公共団体の機関に対して、その職務に関する事柄について文書で希望を申し述べるもので、提出する場合は、議員の紹介が必要です。

所管の委員会で審査し、本会議で採決を行いました。

不採択 中学校における「41人以上」の学級の解消を求める請願の件

[請願項目]

・市内中学校における中学校41人以上の学級を速やかに解消し、すべての学級が40人以下になるようにしてください。

令和7年3月定例会 本会議 議決結果

○賛成 ×反対 (請願は○採択 ×不採択)

賛否が分かれた議案等

件名 [] は討論件数	議決結果	大阪維新の会	公明党	八尾保守の会	八尾の未来を紡ぐ会	新声	日本共産党
		景山 和香 木村 健二 稲森 洋樹 鏑方 淳治 松本 剛 坂本 尚之 榎井政佐 美田中 慎二 奥田 信宏	福永美智子 南方 武 五百井真二 前園 正昭 西田 尚美	川上 舞 松田 憲幸 露原 行隆 田中 久夫	柴谷 匡哉 西川 あり 吉村 拓哉	山中 宏 竹田 孝吏	田中 裕子 越智 妙子
八尾市立認定こども園条例の一部改正の件 [※1]	可決	○	○	○	○	○	×
八尾市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件 [※1]	可決	○	○	○	○	○	×
令和6年度八尾市一般会計第9号補正予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×
令和6年度八尾市水道事業会計第2号補正予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×
令和7年度八尾市一般会計予算の件 [反対1][※2]	可決	○	○	○	○	○	×
令和7年度八尾市国民健康保険事業特別会計予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×
令和7年度八尾市介護保険事業特別会計予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×
令和7年度八尾市後期高齢者医療事業特別会計予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×
令和7年度八尾市公共下水道事業会計予算の件 [反対1]	可決	○	○	○	○	○	×
中学校における「41人以上」の学級の解消を求める請願の件 [採択1]	不採択	×	×	×	×	×	○

◆田中慎二議員は議長のため採決に加わらない。

[※1] 2件一括で反対1

[※2] 全会一致の議案等「令和7年度八尾市一般会計第1号補正予算の件」及び「令和7年度八尾市一般会計第2号補正予算の件」と3件一括で賛成1

弔電を
自粛しています

市民の皆様の弔事に対して、公職選挙法の趣旨を尊重する立場から、議員個人の弔電を自粛する申し合わせをしています。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

4日(金)	3日(木)	7月	30日(月)	25日(水)	24日(火)	23日(月)	19日(木)	16日(月)	13日(金)	12日(木)	6月	30日(金)	27日(火)	5月
本会議議案採決	議会運営委員会		予算決算常任委員会(全体会)	予算決算常任委員会(総務分科会)	健康福祉環境常任委員会(健康福祉環境分科会)	予算決算常任委員会(文教分科会)	予算決算常任委員会(建設産業分科会)	建設産業常任委員会	本会議予備日	本会議(議案説明個人質問)		議会運営委員会	議会運営委員会	

6月定例会の予定

めざせ!“おせっかい日本”

つなげる支援室ってなあに？

令和6年度に市議会を通じて受け入れた行政視察のうち、最も多くの自治体に来訪いただいた「重層的支援体制整備事業」を行う、つなげる支援室の職員の方にインタビューしました。



令和2年度の「10万円給付金」をきっかけに地域で孤立化する人の存在に気づいたことから、「誰ひとり取り残さない」をかけた声に相談支援体制の見直しをしてきた八尾市。「つなげる支援室」を設置して、議員が受ける様々な相談も支援につながりやすくなりました。令和5年度からは、議会の後押しも受けて、八尾市ならではの重層的支援体制がスタートしました。

―八尾市版重層的支援体制整備事業って？

市と社会福祉協議会、地域の社会福祉法人の3者が手を取り合うスタイルが特徴です。生きづらさ・生活困窮・虐待・病気が不登校・ひきこもり・認知症など、多くの困りごとが重なった方の支援を多職種・多機関連携で行います。

―3者はどんな役割を担う？

市は、あらゆる相談窓口を通じて市民の皆さんの相談を受け、つなげる支援室の調整などで関係機関が連携してサービス利用などの支援につなぎます。

社会福祉協議会は、どこに聞いたらいいか分からない相談を受ける役割と、窓口に行けない人への訪問を行っています。



保健師、心理士、事務職で構成される「つなげる支援室」は、相談者と直接お話しはしませんが、複雑な困りごとを解消するため、庁内外の様々な支援機関を「つなげる」役割を担い、縁の下の力持ちの役割を果たしています。



つなげる会議

一つの相談窓口だけでは対応が難しく、複雑な問題を抱えるような相談に対しては、10か所以上の支援機関に声をかけ、会議を行い支援しています。

社会福祉法人は、制度で対応しきれないような市民ニーズに柔軟に対応した多様な支援をしていただいています。

―つなげる支援室ってどんなところ？

市の各相談機関の全体調整や統括的機能を担い、「断らない相談支援体制」や地域共生社会の実現に向けた体制づくりをリードする役割を担っています。早い段階での支援が大事なため、おせっかい日本一をめざしています！

―どんな相談機関が連携している？

市役所の中はすべて関係しますし、小・中学校、大阪府の相談機関、高齢・障がいの相談事業所、医療機関など、支援対象者ごとに関係する機関はどこでも声かけをします。

―これまでの取り組みの中で見えてきたことは？

多職種・多機関で連携して支援を行うことで、支援者一人一人の負担を減らし、幅広い支援ができるようになりました。また、迅速で積極的な訪問により、継続的な支援につながる事ができるようになり、相手のペースに伴走した支援をすることで、信頼関係が構築され、ご本人の意思に沿った支援ができるようになったと感じます。

―困りごとはどうやってキャッチする？

市役所では、相談窓口以外の各種手続きに來られた方でも、ちょっとした異変や困り感をキャッチして早期支援につながりやすいことを研修で伝えて実行しています。また、地域や関係機関で把握した情報も連携してキャッチするようにしています。

―どんな思いで職務にあたっている？

生きづらさを抱え、自らSOSの発信ができず、地域で孤独な状態になっている人たちに、こちらから手を伸ばしていきたいと思っています。私たちが強い思いを持って動くことで、多くの人が共感し、協力をしてくださる。そして、この支援の輪が広がるのが、安心して暮らすことができる地域共生のまちにつながっていくはず。そんな思いで日々奮闘しています。

―今後、どのような取り組みを行う？

これまで、認知症の方などの支援として、社会福祉協議会とともに市民後見人の活躍促進にも力を入れてきました。さらに、住まいの確保が難しい方への支援のため、住宅部局や民間企業や社会福祉法人との連携で、居住支援協議会を立ち上げていきます。これからも走り続けます！



地域イベントでの広報活動

ちょっと心配だなという人に声をかけて、つないでくれる“おせっかいができる人”が増えるよう、事業所や商店街、地域の方々に向けてPRをしています。

編集後記

議会だよりを身近に感じていただく新たな取り組みとして、行政視察の受入れ施策に関連し、現場の職員の方にお話を伺いました。取材にご協力いただきありがとうございます。

議会だより編集委員会 (○委員長 ○副委員長)

◎ 松田 憲幸 ○ 山中 宏
木村 健二 川上 舞 福永 美智子 西川 あり 田中 裕子

各ページの縦帯の柄は八尾市の伝統文化である河内木綿の「二様菊花唐草文」の図柄をモチーフにしています。